

競技注意事項及び大会規定

1. 本大会は2020年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。

2. 招集について

- (1) 招集は全て現地で行う。
- (2) 招集の集合時刻は、別記競技日程を参照のこと。
- (3) 招集の手順

競技者は集合時刻までに現地に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブス、スパイク、衣類及び競技場内に持ち込む物品等の確認を受ける。その際800m以上のトラック種目の競技者は、腰ナンバーカードを受け取り、右側腰の後ろへ取り付ける。セパレートのトラック種目は、偶数レーンを走る競技者のみ、色のついた布テープを右側腰の後ろへ取り付ける。

- (4) 2種目を同時に出場する競技者は、1種目目の招集時刻までに、監督もしくは代理人が、あらかじめその旨をホームページからダウンロードした「二種目同時出場届用紙」(会議室Bにも用意する)に記入し、情報処理員(会議室B)に提出し、指示に従う。
- (5) 競技をやむを得ず欠場する場合は、競技開始時刻30分前までに競技者の所属する各団体の監督がその旨を欠場届に記入し、情報処理員(会議室B)へ提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(会議室Bにも用意する)なお、集合時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場するものとして処理する。
- (6) 走高跳、走幅跳、砲丸投は競技開始時刻40分前より、棒高跳は競技開始60分前より現地に入り、練習可能とする。

3. 競技について

- (1) 走路順、試技順はプログラム記載順とする。
- (2) トラック競技はすべてタイムにより順位を決定する。
- (3) 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
- (4) フィールド競技は3回の試技の後、記録の上位8名がさらに3回の試技を行い順位を決定する。計測ラインを次のように設定する。ただし、跳躍審判長・投てき審判長の判断で変更することもある。

| | 走幅跳 | 砲丸投 |
|------|---------|---------|
| (男子) | 5 m 4 0 | 8 m 0 0 |
| (女子) | 4 m 4 0 | 8 m 5 0 |

- (5) 走幅跳は、メインスタンド側ピット、バックスタンド側ピットの両方を使用し、1組2組がメインスタンド側、3組がバックスタンド側で実施する。A～Cまでの3つのピットを使用する。メインスタンド側のスタンド側がAピット、トラック側がBピット、バックスタンド側がCピットとする。
- (6) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持・使用することは禁じられている。(競技規則第144条)
- (7) スパイクピンは全天候用で、長さは9mm以内(走高跳12mm以内)とし、スパイクは先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。(競技規則第143条)

- (8) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする（競技規則第162条7）。ただし、スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (9) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則第146条に従って定められた時間内に、各競技者自身または代理人が担当総務員を通じて口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。
- 注：抗議があった場合、必ず、関係校の顧問に連絡を行う。

4. 競技場への入退場について

- (1) 入場は、他の競技の支障がないように、各自で集合時刻までに現地へ入場する。
- (2) 競技者は、競技役員の指示に従って退場する。

5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、胸、背部につけること。なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。腰ナンバーカードは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。

6. 棒高跳、走高跳のバーの上げ方について

棒高跳、走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。

（天候など特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。）

優勝決定のためのバーの上げ下げは棒高跳5cm、走高跳2cmとする。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|-------|------|--------|
| 男子走高跳 | 1m55 | — | 1m60 | — | 1m65 | — | 1m70 | — | 1m73 | — | 1m76 | 以後3cm | | |
| 女子走高跳 | 1m35 | — | 1m40 | — | 1m45 | — | 1m48 | — | 1m51 | — | 1m54 | 以後3cm | | |
| 棒高跳 | 2m00 | — | 2m20 | — | 2m40 | — | 2m60 | — | 2m80 | — | 3m00 | — | 3m10 | 以後10cm |

8. 用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んで서는ならない。

9. 表彰について

第3位までの入賞者に賞状を授与する。順位決定後、エントランスホールまで取りに来ること。

10. 商標について（詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による）

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守る。

- ① 上半身の衣類・・・製造会社のロゴ：大きさは、各文字が高さ4cm以内、ロゴ全体で高さ5cm以内で、面積30cm²以内の長方形とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名／ロゴ面積は、各文字が高さ4cm以内、ロゴ全体で高さ5cm以内で、面積40cm²以内の長方形とする。
- ② 下半身の衣類・・・製造会社のロゴ：高さ4cm以内、面積20cm²以内のものを1ヶ所とする。
- ③ ソックス・・・高さ3cm以内、面積6cm²以内のものをそれぞれに1ヶ所とする。

④ バッグ …… 製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は 25cm²以内のものとする。

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う



11. その他

- (1) 競技場をよごさないようにすること。特に空き缶類，弁当がらの片づけは各校で責任を持って行うこと。
- (2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。
- (3) 本部前は通行禁止とする。
- (4) 応援について
 - ① スタンドでは他の競技者、観戦者との距離を十分に確保すること。
 - ② 声を出しての応援、集団での応援は禁止する。
- (5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。
- (6) 競技者の事故等に対しては、応急処置以外の一切の責任は負いません。
- (7) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。
 - ① 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
 - ② 次の場合の撮影を禁止する。
 - ・ 禁止された区域での撮影。
 - ・ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしているとき。
 - ・ 試技を待っている間や、身体を動かしているときなど。
- (8) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、傷害保険の加入範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (9) 本大会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、「令和2年度岡山県ジュニア陸上競技選手権大会」開催にあたっての連絡事項を必ず確認すること。